



学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成  
校 訓 「 自主・創造・敬愛 」 R1. 5. 30発行 文責 校長 松崎大樹

### 令和元年度 第70回大村市中学校総合体育大会前半戦終了!

選手みなさん、応援生徒みなさん、大変よく頑張りました!

そして、たくさんの感動をありがとう!



### 大会結果



#### 団体の部

【優勝】 男子バドミントン部、男子バスケットボール部、男子バレーボール部、野球部、サッカー部

【準優勝】 女子バレー部、女子剣道部、女子ソフトボール部

#### 個人の部

【優勝】 男子バドミントンダブルス 3年山内拓斗・3年高柳 蓮

【準優勝】 女子ソフトテニス 3年吉田桜華・3年澁谷怜花 新体操 2年矢田 樹

柔道 3年開田凜梨也

【第3位】 柔道 2年徳永翔大 女子バドミントンシングルス 3年川崎菜月美 3年酒井梨花

剣道 2年伊藤智尋



大村中学校の代表として大村市中学校総合体育大会各種競技に出場した選手みなさん、この2日間に渡る白熱した試合、そしてその中で見せた一つ一つの真剣なプレー、大変よく頑張りました。そして、たくさんの感動をありがとう。

また、応援生徒みなさんもチーム大中のまとまりをしっかりと示し、選手みなさんに熱い声援で勇気と力を届けてくれたことに、深く感謝しています。

特に、本大会の厳しい戦いを勝ち抜いて見事優勝を成し遂げた男子バドミントン部、男子バスケットボール部、男子バレーボール部、野球部、サッカー部の選手みなさん、そして、個人の部で見事県大会出場の権利を勝ち取った選手みなさん、本当におめでとうございます。

これまでの頂点を目指す日々の努力と向上心が、みなさんの心技体とチームとしての力を高め、大村市の頂点に立つチームとして、そして自らの県大会出場という夢を見事叶えられたのだと思います。

また、あと少しのところまで優勝、勝利を逃した選手みなさんも本当にお疲れ様でした。「あんなに頑張ったのに・・・」「あの時、もう少し頑張ることができたら・・・」と、今でも悔しい思いがこみ上げてきているのかもしれませんが、しかし、みなさんが最後まであきらめなかった姿、そして仲間を信じてプレーした姿は、優勝チームにも引けを取らない、大きな感動と勇気を、これまで支えてきてくれた監督、コーチ、チームメイト、保護者のみなさんに与えてくれたものと思います。

特に中学3年生の選手の中には、本大会をもって、中学校の部活動生活に幕を閉じることになる選手みなさんもいることと思いますが、あなた方の人生は、これで終わりではありません。

どんな結果に直面しても前へ進み続けようとする心がある限り、人は敗者ではありません。これまでの努力は決して無駄なものではなく、本大会の結果も含めて、みなさんの尊い財産になることと思います。この中総体に向けて必死に取り組んできた自分、そしてチームの取組を、これからの生き方にしっかり生かしてほしいと思います。



#### 監督・コーチ・保護者の皆様へ

大村市中学校総合体育大会に向けて選手たちを指導していただいた監督、コーチの皆様、そして一番身近な家族という存在だからこそ、時には厳しく、時には温かく見守り支援していただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。生徒たちは、この部活動における貴重な経験を糧にして、またたくましく成長していくことと思います。これからも、ご指導、そして温かいご支援を、引き続きよろしくお祈りします。

ありがとう  
ございます



2階玄関には、生徒達の活躍を讃える優勝旗5本が誇らしげに並んでいます。

# 今年度初めての定期テスト「前期中間テスト」が実施されます！

生徒のみなさんの進路決定、そして将来の夢や希望の実現に向けて大切なテストです。  
しっかり取り組んでいきましょう！ みなさんの地道な取組を大いに期待しています！

## 生徒のみなさんへ 学びの意味とは・・・

中総体終了後、6月3日(月)・4日(火)の2日間で今年度初めての定期テスト「前期中間テスト」が実施されます。取組の期間が短くだけに、しっかりと学習への切り替えと計画的・継続的な取組がとて大切になります！

確かに、勉強では、これまで分からなかったことを学んだり、できなかったことをできるようにするため、長い時間や粘り強さが求められます。そのため、覚悟を決めて取り組まなければならない面もあると思います。

しかし、勉強におけるその地道な取組を成し遂げ、一つ一つの問題や課題を乗り越えた瞬間には、自分の力・成長を感じると共に、自分の世界が広がっていく楽しさも体得できるはずですよ。

そして、もう一つ。あなたに、やりたいこと、進みたい道が見つかった時、それをあきらめることなく、自分の力で実現できるための「自由」。その「自由」を手に入れるために、毎日の「勉強」が必要であり、大きな力を与えてくれるのです。

「前期中間テスト」に向けて、「学びの意味」をしっかり理解し、粘り強く、継続的な取組を期待しています。

## 前期中間テスト時間割

6月3日 (月)	学年	1校時	2校時	3校時
	第1学年	国語	数学	英語
6月4日 (火)	第2学年	数学	社会	国語
	第3学年	英語	社会	理科
	学年	1校時	2校時	3校時
6月4日 (火)	第1学年	社会	理科	火曜日3
	第2学年	理科	英語	火曜日3
	第3学年	国語	数学	火曜日3



## 保護者の皆様へ お子様の家庭学習支援について

家庭学習には、学校の日々の学習と密接な関係があり、その相乗効果により、生徒達の学力の確かな定着と主体的に学ぶ習慣というものを育むことができます。

学校の授業において、生徒達は分かったつもりでも、いざ問題を解いたり、小テストを受けたりすると、忘れていたり、理解できていなかったことに気づくことはよくあることです。

しかし、家庭学習において、授業内容を復習して問題演習などを毎日行くと、理解力・記憶力が飛躍的に高まり、学力定着をより確実なものにできるのです。以下に、家庭学習がうまくできない生徒に対しての家庭でのサポート方法を記しておきます。参考にいただき、お子様の家庭学習支援の一助にいただければ幸いです。前期中間テストに向けて御協力のほどよろしくお祈りします。

### ①語彙力を伸ばす

人の話や教科書・ニュースなどでわからない言葉と出会った時に、辞書やインターネットの検索サイトで「調べる習慣」を身につける。語彙力があれば、文章を読むときに有利で、読解力が身につきます。

### ②集中できる環境を整える

勉強する時間と息抜きする時間のメリハリをきちんとつくることで集中力を上げる。また勉強する場に誘惑されるもの(スマホ、ゲームや漫画など)を置かないといった勉強しやすい部屋づくりをして、集中力を高める。

### ③ノートに学習の記録をつけて、やるべきことを整理する

日々の宿題や定期テストまでに取り組む課題について、「いつまでにどのくらいやる」を紙に書き出し整理する。取り組むべきことと取り組んだことの「見える化」をはかることでやる気上げる。

## 「南極の氷」をいただき、展示させていただきました！

3年生和田彩葉さんのお父様から、学術的にも非常に貴重で、価値がある「南極の氷」をメッセージ付きで寄贈を受けました。誠にありがとうございました。ご紹介させていただきます。

大村中学校のみなさん、こんにちは。

今あなた達の目の前にある氷は、南極の氷山から採取したものです。南極は地球で最も美しい場所。南極大陸は日本の約36倍の大きさがあり、平均2500mもの厚さの氷に覆われています。この氷は南極で降った雪が、年間数cmずつ圧縮されて氷になったものです。その氷が何年ほど前のものか想像できますか？ 何と、数万年もの太古に作られたものなんです。水の中に入れてみてください。パチパチという音が聞こえますか？ その泡は数万年前の南極の空気が氷に閉じこめられたものなのです。数万年前の地球ってどんな世界だったんでしょうね。南極の氷に触れるという貴重な体験で南極に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。

和田 誠 様より



たくさんの生徒達が、興味関心を持って、南極の氷に触ってくれました。ありがとうございました。